

R5年度 1年生 生活・総合的な学習の時間

テーマ(単元名)

ひろがれ えがお



お家の人の願い

シーズのサポーター

自分

働きかける対象
お家の人



共感

説明

・お家の人や、家事を
するとき困っていること
や、もっとこうだったら
いいのと思うことをイン
タビューする。

問題 定義

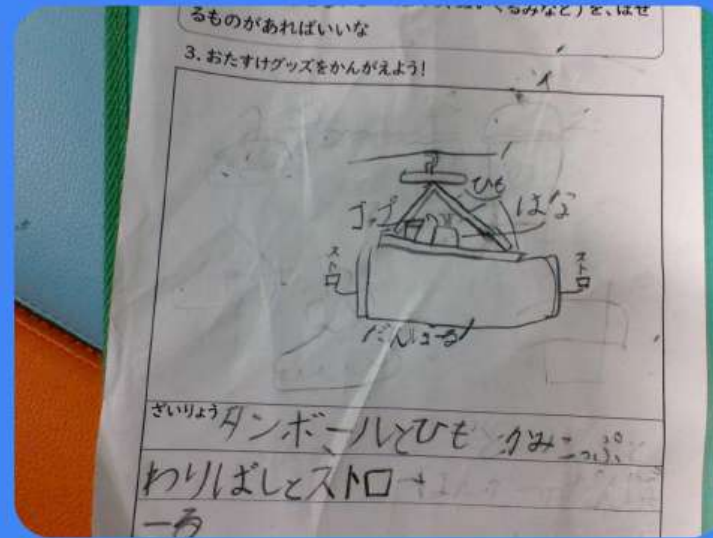
説明

- ①お家の人から聞いた困っていることを発表する。
- ②出てきた困りごとのうち、自分たちがグッズを作って解決できそうな困りごとを決める。

発想

説明

・グループに分かれて、
困りごとを解決するグッズ
(お助けグッズ)を考える。



プロトタイプ

説明

- ・グループごとにお助けグッズを製作する。





テスト

説明

- ・製作したお助けグッズを家に持って帰り、お家の人に使ってもらい、感想を聞く。

児童の 振り返り

教員の振り返り

○お家の人笑顔になるように、一生懸命考えてアイデアを出しながら製作したことで、家族の一員としての自覚や、お手伝いをする事の大切さを感じていた。

▲お家の人困っているところを具体的にイメージすることができず、アイデアがなかなか出てこなかった。実際にお家の人困っている様子が見れるようにしたり、お家の人から、「こんなことができたらいいのに」という具体的なアドバイがもらえたりできるように、お家の人と協力することが必要だった。

児童の振り返り

「ペットボトルを干すことはできたけど、水筒を干すと、倒れてしまったので、水筒を干すときは、おもりを入れればよかった。」

児童の振り返り

「毛糸が少なかったなので、家で付け足しました。」

児童の振り返り

「うまくできなかったところがあつたので、そこをもっとグループで相談すればよかった。」

児童の振り返り

「ほうきの毛糸が長すぎて掃きにくかったから、家で切りました。」